

みずほマーケット・トピック(2025年8月29日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

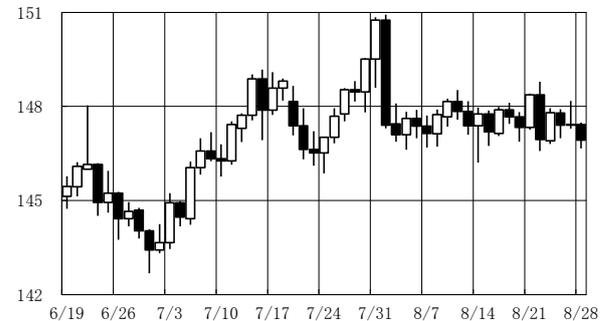
※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

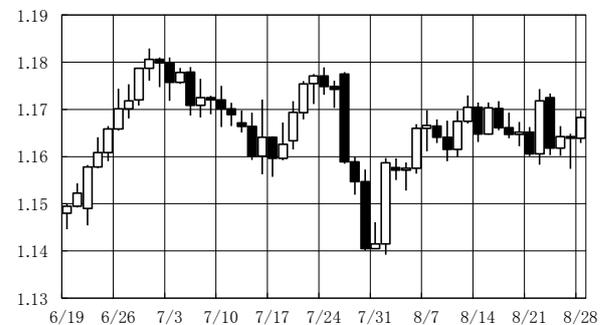
- 今週のドル/円は概ね上に往って来い。週初25日、147.27円でオープンしたドル/円はドルの買い戻しを受け一時147円台半ばに上昇。海外時間は、米金利反発や米7月新築住宅販売件数の好調な結果などを受け、147円台後半に続伸した。26日、ドル/円は、トランプ米大統領によるクックFRB理事の解任公表を受けて瞬間的に147円を割り込むも、クック氏の反発を伝える報道を背景に147円台後半を回復。海外時間は、米金利が低下に転じる流れと共にじり安となり、147円台前半に下落した。27日、ドル/円はドル買い相場の中で、一時148円手前に上昇。海外時間は、一時週高値となる148.18円に続伸後、米金利低下やFRB高官によるハト派的な発言が嫌気されて147円台前半に水準を切り下げた。28日、ドル/円は中川日銀審議委員による追加利上げに前向きな発言や米金利続落を受け、一時147円付近に続落。海外時間は、米金利が低下幅を拡大させる中で下落し、一時週安値となる146.66円に値を下げた。本日のドル/円は、引き続き146円台後半で取引されている。
- 今週のユーロ/ドルは、週半ばにかけ下落も、その後は買い戻されている。週初25日、1.1707でオープンしたユーロ/ドルは堅調な米経済指標や米金利上昇に加え、仏政局の不安定化懸念などが重しとなり、1.16付近まで下落した。26日、ユーロ/ドルはFRB理事解任に関する報道に振られるも、米金利の低下が好感される中で1.16台前半を中心にじり高推移した。27日、ユーロ/ドルは独金利低下やドル買い相場を受けて一時週安値となる1.1574に下落も、その後は米金利低下を横目に1.16台前半を回復した。28日、ユーロ/ドルは米金利低下が下支えとなり、1.16台後半に上昇した。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.16台後半で取引されている。

		前週末	今 週			
		8/22(Fri)	8/25(Mon)	8/26(Tue)	8/27(Wed)	8/28(Thu)
ドル/円	東京9:00	148.40	147.27	147.83	147.48	147.34
	High	148.77	147.92	147.90	148.18	147.49
	Low	146.58	146.80	146.99	147.30	146.66
	NY 17:00	146.91	147.76	147.45	147.40	146.96
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1614	1.1707	1.1615	1.1638	1.1648
	High	1.1742	1.1727	1.1665	1.1642	1.1697
	Low	1.1583	1.1604	1.1603	1.1574	1.1629
	NY 17:00	1.1720	1.1621	1.1642	1.1638	1.1683
ユーロ/円	東京9:00	172.37	172.48	171.68	171.76	171.56
	High	172.61	172.67	172.10	171.90	171.77
	Low	171.85	171.58	171.34	171.32	171.17
	NY 17:00	172.26	171.66	171.61	171.61	171.67
日経平均株価	42,633.29	42,807.82	42,394.40	42,520.27	42,828.79	
TOPIX	3,100.87	3,105.49	3,071.99	3,069.74	3,089.78	
NYダウ工業株30種平均	45,631.74	45,282.47	45,418.07	45,565.23	45,636.90	
NASDAQ	21,496.54	21,449.29	21,544.27	21,590.14	21,705.16	
日本10年債	1.61%	1.61%	1.62%	1.62%	1.62%	
米国10年債	4.25%	4.28%	4.26%	4.24%	4.20%	
原油価格(WTI)	63.66	64.80	63.25	64.15	64.60	
金(NY)	3,418.50	3,417.50	3,433.00	3,448.60	3,474.30	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、9月2日(火)に8月ISM製造業景気指数が、4日(木)に同非製造業指数が公表予定になっている。前回7月の結果はそれぞれ48.0、50.1といずれも市場予想、および6月分を下回った。指数の詳細を確認すると、製造業においては価格指数のピークアウトや雇用指数の弱さが、非製造業においては価格指数の反発や雇用指数の弱さが注目を集めた。一方、ISM指数と一定の相関性がみられるS&P Global PMIは8月速報で強い結果が確認された。なお、ブルームバーグの事前予想では、8月の結果に関し製造業指数を48.8、非製造業指数を50.5と見込んでいる。
- 欧州では、2日(火)にユーロ圏8月消費者物価指数(HICP、速報)が公表予定だ。7月の結果に関し、総合ベースでは+2.0%(前年比、以下同様)と伸び率自体は2か月連続の加速とはなかったが、ECBのインフレ目標ちょうどで落ち着いて推移している。コアベースでは+2.3%と3か月連続で同じ伸び率となった。懸案のサービス価格も+3.15%と40か月ぶりの低い伸びになっており、賃金インフレは終息してきた。ECBが公表する賃金トラッカーを確認する限り、年内いっばいの賃金鈍化も予見される。想定以上のデイスインフレが実現した場合、利下げ再開も視野に入る。なお、ブルームバーグの事前予想では、8月の結果(速報)に関し総合ベースで+2.1%、コアベースで+2.2%と見込んでいる。

	本 邦	海 外
8月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 7月失業率/有効求人倍率 8月東京消費者物価指数 7月鉱工業生産(速報) 8月消費者態度指数 	<ul style="list-style-type: none"> 独8月消費者物価指数(速報) 米7月個人所得/支出 米7月個人消費支出デフレーター 米8月シガン大学消費者マインド(確報)
9月1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 4~6月期法人企業統計 8月製造業PMI(確報) 	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏8月製造業PMI(確報) ユーロ圏7月失業率
2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 自民党両院議員総会 	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏8月消費者物価指数(速報) 米8月ISM製造業景気指数
3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 8月非製造業PMI(確報) 	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏8月非製造業PMI(確報) ユーロ圏7月生産者物価指数 米7月JOLT求人件数 米7月製造業受注 米ベージュブック公表
4日(木)	—————	<ul style="list-style-type: none"> ユーロ圏7月小売売上高 米8月ADP雇用統計 米7月貿易収支 米8月ISM非製造業景気指数
5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 7月毎月勤労統計 7月家計支出 7月景気動向指数(速報) 	<ul style="list-style-type: none"> 独7月製造業受注 ユーロ圏4~6月期GDP(確報) 米8月雇用統計

【当面の主要行事日程(2025年9月~)】

ECB政策理事会(9月11日、10月30日、12月18日)

FOMC(9月16~17日、10月28~29日、12月9~10日)

日銀金融政策決定会合(9月18~19日、10月29~30日、12月18~19日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuohobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuohobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2025年8月27日	円金利上昇の背景はどこに～円安終わらず～
2025年8月25日	ジャクソンホール経済シンポジウムの読み方
2025年8月22日	週末版(「ユーロ圏の「人手不足」はどうなったのか?～「需要不足」への問題意識は高止まり～)
2025年8月20日	4～6月期、「米国離れ」の真相～TICデータ～
2025年8月19日	上半期の円の需給環境について～改善傾向～
2025年8月18日	欧州の外交成果が垣間見えた米露首脳会談
2025年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年7月分) 週末版(「家計部門の投資意欲」に腰折れ懸念～「海外→国内」のローテーションはあるか?～)
2025年8月14日	ニクソン・トランプ比較論～争点は「覇権国の管理コスト」～
2025年8月13日	ニクソン・トランプ比較論～恐れるべき結末～
2025年8月12日	過剰反応すべきではないFRB人事の影響
2025年8月8日	週末版
2025年8月5日	米EU交渉の評価～妥協か、英断か～
2025年8月4日	遂に現れた関税の影響～雇用統計の読み方～
2025年8月1日	週末版(日銀会合を終えて～霧は完全に晴れずも10月利上げが視野に～)
2025年7月31日	FOMCを終えて～年末以降、非常に厄介な状況に～
2025年7月29日	「米国離れ」の検証～5月は過去最大の資本流入～
2025年7月28日	対米投資利益の解釈～「90%取られる」の意味～
2025年7月25日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月から状況変わらず～)
2025年7月23日	日米関税交渉の含意について～日銀への影響あり～
2025年7月22日	参院選を終えて～現状と展望の整理～
2025年7月18日	週末版(日銀プレビュー～「前門の国内政治、後門の米国政治」～)
2025年7月16日	日本版トラスショック再考～脆弱性は否めず～
2025年7月15日	日本版トラスショック再考～現実味を考える～
2025年7月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年6月分) 日本政治の現状と展望～日本売りの材料になる政治～
2025年7月11日	週末版
2025年7月10日	追い詰められているのは米国も一緒～TACOの前提～
2025年7月9日	関税の緩衝材となる円安～日銀の判断は～
2025年7月8日	膠着する家計の投資意欲とその今後
2025年7月7日	物価高対策を巡る不可思議～王道は利上げ～
2025年7月4日	週末版
2025年7月3日	今、考えるユーロ/ドル相場の高値目途
2025年7月2日	インフレ適応が続く家計、諦観強まる若年世代
2025年7月1日	25年上期レビュー～「欧州の強さ」と「円の弱さ」～
2025年6月27日	週末版
2025年6月26日	NATO首脳会議～動き出した欧州の戦略的自律～
2025年6月25日	「米国離れ」は本当なのか～4月に起きていたこと～
2025年6月24日	衰えないスイスフラン～欧州資産へのローテーション～
2025年6月23日	目立ってきた日本の高インフレと中東リスクへの不安
2025年6月20日	週末版(FOMCを終えて～ドル/円相場への含意～)
2025年6月18日	買かれなかった「べき」論～優しさの代償は?～
2025年6月16日	中東事変とドル/円相場への影響～円売り優勢～
2025年6月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分) 週末版(変わるドル下落相場の背景～米国主導ではなく他国主導に～)
2025年6月12日	日銀会合プレビュー～「もう関与しない」を示す時～
2025年6月11日	円の基礎的需給環境について～暴落後の挙動～
2025年6月10日	新しい対内投資目標の読み方～「骨太の方針」～
2025年6月9日	為替政策報告書を受けて～年金運用への注文?～
2025年6月6日	週末版(ECB政策理事会を終えて～利下げ局面の終わり?～)
2025年6月4日	ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方
2025年6月3日	ECB政策理事会プレビュー～利下げは当然視できる?～
2025年6月2日	欧州再軍備と欧州版ハミルトン・モーメント
2025年5月29日	IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか?
2025年5月28日	34年ぶりの首位陥落～24年末対外純資産について～
2025年5月26日	懸念通りの米EU交渉～日本との違い～
2025年5月23日	週末版(ユーロ相場の現状について～堅調に潜むリスク～)
2025年5月22日	円金利上昇と為替相場についての所感
2025年5月21日	赤澤ベッセント会談3.0～争点化する自動車～
2025年5月19日	米国価格下げの影響～急性的ではなく慢性的～
2025年5月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年4月分) 週末版
2025年5月15日	懲りないドル安ナラティブ～3度目の光景～
2025年5月14日	円の基礎的需給環境について～25年1～3月期～
2025年5月13日	経産省「デジタル経済レポート」を受けて～その②～
2025年5月12日	経産省「デジタル経済レポート」を受けて～その①～
2025年5月9日	週末版(米英合意を受けて～むしろ心配になる米EU交渉～)
2025年5月8日	FOMCを終えて～デュアルマンドートの拮抗～
2025年5月7日	逆「アジア通貨危機」観測の考え方
2025年5月2日	週末版(日銀会合を終えて～「何もわからず、何も決められず」の状況～)
2025年4月28日	EUの対米戦略について～「デジタル赤字への課税」も～
2025年4月25日	週末版
2025年4月24日	不確実性極まるIMF報告～WEOとGFSR～
2025年4月23日	最強通貨の地位が続くスイスフランからの教訓
2025年4月22日	加藤・ベッセント会談プレビュー～為替は争点なのか?
2025年4月18日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月スタッフ見通しの重要性を強調～)
2025年4月17日	マールアラゴ合意の読み方～40年前の再現は不可能～
2025年4月15日	日本の構造変化vs. 国際金融体制の再編
2025年4月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年3月分) 日米通商交渉プレビュー～論点の検討～
2025年4月11日	週末版(リスクシナリオの高まり～不穏なベッセント発言～)
2025年4月9日	トランプ大統領は「カブ効果」に耐えられるのか
2025年4月8日	残された望みは「緊急協調利下げ」か?
2025年4月7日	インバウンド需要はピークアウトするか?
2025年4月4日	週末版(正論を掻き消す時代の振り子～デタラメ過ぎる関税根拠と為替政策報告書～)
2025年4月3日	厳しい対米貿易の展望～輸出は減り、輸入は増える～
2025年4月2日	トランプ時代の「為替政策報告書」の意味を考える
2025年4月1日	1～3月期の為替市場外観～割を食うユーロ圏～
2025年3月28日	週末版(世界に広がるスタグフレーションシナリオ～25%自動車関税の行方～)
2025年3月25日	インフレに適應する家計部門～「貯蓄」から「逃避」～
2025年3月24日	インフレか、デフレか～FOMCを終えて～
2025年3月21日	週末版(日銀会合を終えて～「史上最大の円ロング」、2つの先行き～)